



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 「新しいワイズダムを築こう イエスの教えのもとに」
 アジア会長標語 「一粒の種となろう」
 西日本区理事標語 「(夢を語り未来を創造しよう) -クラブビジョンを語ろう-」
 中部部長標語 「参加することを楽しみを見つけよう Enjoy Your Commitment」
 クラブ会長標語 「10周年に向けて、再度団結しよう」

2002年6月号

< 今月の聖句 >

主に従う人よ、主によって喜び歌え。主を讃美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ 十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。新しい歌を主に向かってうたい美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。

詩篇 33

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2002年6月例会ご案内

第一例会

と き : 6月11日(火)
 と ころ : Asian Kitchen 八口八口
 中区栄四丁目 18-6 三真ビル1F
 TEL 052-263-0506
 時 間 : PM7:00~
 食卓話 「フィリピン料理からフィリピン文化を探る」
 この一年取り組んできたフィリピン関連の締めくくりとして、実際にフィリピン料理を食して、これまで感じ取ったこと等を語り合いたいと思います。

第二例会

と き : 6月25日(火)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM7:00~

第五回 西日本区大会

と き : 6月8日(土)
 と ころ : ホテルグランピア京都
 時 間 : 西日本区年次代議員会
 10:45~12:00
 大会式典
 13:00~16:45
 パーティー・表彰式
 17:45~21:00

5月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(5月)	
	在 席 者	24名	第 1 例 会	16名	当 月・切 手		ニコBOX ノート	
例会出席者	20名	第 2 例 会	12名	当 月・現 金		感 謝 ファンド		
当月出席率	83.33	部 会 他	1名	累 計		累 計	9690	

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"
 = 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

5月第一例会 報告

暮らしと損害保険

エース損害保険(株) 山口一徳氏



今回の卓話はグランパスメンバーでありエース損害保険に勤務サレル山口兄から、日常的でありながら知っているようで知らない「損害保険」の話の伺いました。損害保険会社も相互に保険をかけていることや、あのニューヨークのテロによって保険会社が倒産してしまったこと、私たちが加入している保険会社は大丈夫なのか(ディスクロージャが200%以上ならOK)等々、保険会社から同業他社を見るという視点で非常に勉強になりました。特に火災・地震保険は身近なものとして質問も多く出され、多くの保険会社が出している商品内容に大きな違いがあることも理解できました。備えあれば憂いなし。東海沖地震もいつ起こるか分かりません。損害保険でご不明な点あればぜひ山口兄にご相談してください。

名古屋YMCA創立100周年 記念特集

5月18日に開催された「名古屋YMCA創立100周年記念式典・晩餐会」に参加したメンバーから感想が寄せられました。



厳かな空気漂う記念式典

小生にとって、とても感慨深いものでした。80周年の時には、職員として迎え、同期入職の加藤渡くんと「100周年の時は俺たちはどうなっているんだろうね」と、また「名古屋YMCAはどうなってるんだろうね」と語り合ったことを思い出します。

こうして無事に100周年記念式典を終えて、YMCAで過ごした懐かしい時がよみがえってきました。懐かしい方々ともお会いすることができ、20年の時の流れが止まったようにさえ感じました。

最後に、式典の壇上に秋重殉氏の姿がないのが残念でたまりませんでした。

これからも神を信じる者は永遠の命を与えられるか如く、名古屋YMCAにも永遠の命がありますように。アーメン。

佐々木忍



何十年ぶりかの再開もあった晩餐会

久しぶりYMCAの歌を合唱し、ワイズに入会した実感を新たにしました。100年の歩をみて、名古屋YMCAの活動が1世紀と言う大きなうねりの中でいくつかの苦難を乗り越えながらも青少年育成に関わってきたこと、そしてこの歴史は関係者の並々ならぬ情熱、熱意があったかを思い、その節目の年にワイズの活動を始めたことに、何かしら因縁を感じています。これからの新しい歴史を作っていくことに少しでも協力できるようチャレンジして行きたいと思っています。

山口 一徳

少し遅刻して到着した広い会場には懐かしい顔がイッパイありました。知らない顔もイッパイありました。皆名古屋YMCAの100年の一部分を作り上げてきた顔です。私自身を含め皆楽しそうな顔です。そしてこれからの100年を期待している顔でもあります。



西村中部部長を中心に記念撮影

記念式典・晩餐会は、和やかな雰囲気でした。わたしにはとても楽しいものでした。名古屋Y M C A スポーツ・英語専門学校の学生による和太鼓の演奏もバザー・チャリティーランの時と比べ一段とパワーアップしたすばらしいものでした。おみやげにいただいたDVDも家族で楽しく拝見させていただきました。



名司会のお二人(橋爪さんうれしそう)

只、これからのY M C Aを担っていく若い人は、和太鼓に出演した学生だけでした。もちろん晩餐会に参加するには10,000円が必要です。会の主旨からして仕方のないことかも知れません。



迫力ある和太鼓の演奏

今から考えると記念式典・晩餐会は、ワイズの中部部会か合同新年会の規模をすこし大きくしたものだっただけかな～？おじさん・おばさんや老人が過去を楽しむものだったのかな～？などと一生懸命準備をしてくださった職員その他の方々の頭にきそうなことを考えています。

坂倉 洋

私と名古屋Y M C Aとの初対面は、今をさかのぼること32年前、1971年(昭和46年)の春でした。

過酷な浪人生活を楽しいものに変えてくれたY M C A。学生時代は明けても暮れてもY M C A。メネットとはY M C Aが縁で結婚とずいぶん御厄介になりました。

記念のDVDをさっそく起動してみれば、リーダー時代にバザーを行ったあの懐かしい木造の体育館とか今も変わらぬ根の上キャンプ場等々。青春の日々が走馬灯のように記憶に流れました。僅か30年の接点の私ですらこの状態となれば、さらに上の年代の方々などは非常に感慨深いものがあつたに違いないと思いました。

晩餐会ではお年こそ召されたが昔のはつらつさはそのままの先輩諸氏にもお目にかかれ、30年以上昔の記憶がむくむくと湧きあがってきたのは私だけではないでしょう。

最近仕事に明け暮れワイズの活動も低迷を続けていますが、鮮烈なあの時代の記憶を蘇らせてくれたこの時を、今の状態を替えるための分岐点にできたらと考える次第です。

若い頃の自分を強烈に引き付けたY M C Aの魅力は決して絶やすことなく次世代にも引継がねばなりません。ワイズ活動を通じて少しでも貢献できればと思います。

荒川 恭次



参加したグランパスの面々

5月10日の午後これからが花の金曜日とあれこれ考えていた午後4時過ぎにロスのYMCAメンバーを三日間引き受けてもらえないかとボランティアセンターの下方さんから電話が入りました。



三井家とホームステイメンバー

これは大変、あわてて家族に連絡するやら夜の予定をキャンセルするやらあわてましたが前もって来名のメンバーは聞いていましたので家族の了解を得てひきうける事に成りました。(本音は全員が女性だったのが決めてでした)

メンバーの中には、当家の三女の紗代子が三年前と昨年ロスでお世話になった人が居るとの事で家族一同あわてて掃除やら買い物を済ませて到着を待っていましたが、ちょうど長女が中国から帰ってきたと同時にメンバーの二人も着き、



挨拶をしていましたらもう一人プラスとの事で二人も三人もこの際同じとの事で40代のマリリン、20代のシャーロンとエミリーの三人の美女をホストをすることになりました。

これから三日間家族の一員として楽しい豊田の田舎の思い出を残してもらえようと家族の自己紹介とか食事の好き、嫌いなものとか、和

室での布団の寝方とか、風呂の使い方とか等々紗代子の助けをしてもらいながら(当家では一番話英語が通じるが、英米語を学んでいる長女はすぐに遊びに行ってしまう当てにはできませんでした)私の通じない英語でやり取りをして夜遅くまで話が続きました。

余談ですが、何せ、当家娘三人と奥様の4人プラスアメリカ美女3人の計7人の花園となり華やかこの上ない世界で圧倒され、私のふるの時間は朝の2時過ぎとなる始末でした。



「ザ めしや」にて

又、豊田は仕事をする町で遊びの場所はまったく無く、強いて言えば鞍ヶ池公園にある豊田家のプライベート的な美術館(所蔵品はすごいものばかり)ぐらいで、海外の人には退屈な町ですが、文句も言わず見てくれていました。

途中、エミリーはロスへ帰りましたが、残ったマリリン、シャーロンを豪華ランチの ザめしやに連れて行ったり近所の八百屋に連れて行き大将が美女軍団に気前良く割ったスイカをその場所にかぶりついたりとてもロスでは味わえない豊田を知ってもらったと思います。その日は母の日で、まったく忘れていましたがシャーロンがわざわざ花屋に行き家の奥様にプレゼントをしていただいたのは感激しました。

翌週の奈良、京都の観光後に名古屋YMCA設立100周年パーティーには同じテーブルになり、当家でのホームステイでの話で盛り上がりました。終了後再会を誓い合い、楽しかったホストをする側として感謝を伝えてお別れいたしました。

私の家での海外の人のホストは二回目となりましたが、初め構えていたがいつもの生活パターンであれば、ホスト側とステイ側も気楽に過ごせるのもわかり、子供達にもいい経験をさせていただいたと感謝いたします。

三井秀和

イギリス便り

グランパスの皆様

日頃大変ご無沙汰しておりますことをお許しください。

不本意ながら、炊事、洗濯、小屋掃除？に加えて3年半を経てもなお社業を軌道に乗せるための難行、苦行(といってもこれがあるから飯が食えるともいえますが)続きでパソコンはメールをチェックするのみという状態です。

折角'最新メンバーアドレス'を頂いたばかりなのに申し訳ありませんが、小生へのメールアドレスを今までのAOLのアドレスから

issey60@cd6.so-net.co.jp

に変更を頂きますようお願いいたします。もっと早くご連絡すべきでした、おくれましたことをお詫び申し上げます。

最近の私のAOLのアドレスには'アフリカ諸国からの巨大資金提供、各種のローン、寄付依頼、拳句はバイアグラの宣伝、怪しげ？なお誘いまで'ありとあらゆるジャンクメールが届きます。忙しさにかまけて放置していましたが、ついに決別を決意した次第です。

名古屋YMCAの100周年も盛大に開催されたと聞きました。何はともあれ100年続くということは大変なことだと、こちらに伝わってくる最近の日本の停滞、混乱振りと比べただけでも、しみじみ思います。長い間'100年の歴史を綴るー'と歌ってきた'YMCAの歌'の歌詞がまさに現実となりました、先人の働きに改めて感銘を覚えます。名古屋YMCAも困難な状況下に置かれていることは変わりないと思いますが、この継続を支えた力が何であったかについて考え直す機会でもあるのでしょうか。

グランパスも十週年ということですが、これまた私にとっては感慨深い思いです。私も今年なんと還暦を迎えることになりました。思えば10年前に人生50年もっと何かをと思っていたところに与えられたのが、グランパスのチャーター、それに続く日本区理事というチャンスでした。このことを通じて多くのことを学ぶことが出来ました。幻も夢も念じれば現実のものになる、思い出のさよなら日本区大会はまさに印象深い思い出でした。

日本区が東西に分かれるということで、'日本'とは何かについて随分議論をしました。もちろん答えは出ませんでした、このことが丁度仕事でも疑問に感じていた今で言う'国際化'とは如何ということかということにつながり今の仕事に私を駆り立てたといってもいいのではないかと思います。自ら起案してこちらに来たとはい

え、今までと全く違った環境でこの3年あまりイギリスで何とか健康に恵まれ過ごすことが出来たのも私がYMCAやワイズを通じて得た人との交わりの中での経験と知識のお陰であると感謝をしています。

12月のグランパス10周年には何とか日程を調整して参加したいと思っています。

皆様のますますのご発展をお祈りいたします。

吉田一誠

ブリテン担当より

吉田(一)兄にグランパスメンバーのメールアドレス最新版を送付したところ、各メンバーに上記内容のメールを送信されました。名古屋YMCAの創立100周年に想いを語られていましたので、今回の特集に加わっていただくとし、吉田兄のご了解を得てブリテンに掲載しました。

西日本区理事通信より

今期最後の理事通信に津クラブのブリテンからの抜粋が掲載されていました。クラブライフの基本になることで、すし、ワイズメンバー一人ひとりが常に心に留めておかねばならないことだと思います。今のグランパスにとっても、少し考えさせられる文章ですので紹介します。

* ブリテンひろいよみ 津クラブ5月号

どんな組織にも衰退の波はあります。クラブがいつも活力を持っていきいき活動するためには、新しいメンバーのリクルートを努力するとともに、一人一人がクラブのリーダーとなるべく自己研鑽に励み、与えられた役割を果たしていくことです。

まず例会に出席する。メンバーとの交わりが第一歩。そして分担する役割をよく理解して、他のメンバーへ発信する。依頼されたことはすぐ応答する。こうした地道な努力を重ねることによりLTは培われます。日常のクラブライフを有効にかつ有意義に過ごすことが大切ではないでしょうか。

魅力あるクラブになるためには今私達は何をしたらいいのでしょうか。あなたが望むクラブの姿はどんなクラブですか。自分自身がその方向性を見出し他のメンバーと協働してよりよいクラブづくりに邁進しましょう。

一人が一人を迎えられるようにまず参加し楽しい例会が持てるように努力しましょう。